

シマムセン Technics 試聴会報告(2025.11.16) (HP 収載)

—SL-1200GME vs. SL-1200G—

1. はじめに

シマムセンで開催された Technics SL-1200GME、SL-1200G 比較試聴会に行ってきました。

2. シマムセン Technics 試聴会の開催要項と使用機器

Technics SL-1200GME、SL-1200G 比較試聴会の開催要項と使用機器は以下のとおりです。

日時		
2025 年 11 月 15 日(土) 16 日(日)		
Technics SL-1200GME、SL-1200G 比較試聴体験会		
11 月 15 日(土) 11:00~18:00		
11 月 16 日(日) 11:00~16:00		
当日はそのままシマムセン 3F・第二試聴室へお越しください		
【使用機材】		
	(メーカー / 機種)	(税込み定価)
[アナログプレーヤー]	Technics / SL-200GME	(¥599,940)
	Technics / SL-1200G	(¥450,000)
[プリアンプ]	Accuphase / C-3900S	(¥2,420,000)
[パワーアンプ]	Accuphase / A-300	(¥2,970,000/ペア)
[フォノイコライザー]	Accuphase / C-57	(¥825,000)
[スピーカー]	B&W / 802D4 B	(¥5,522,000/ペア)
会場 シマムセン 3F・第二試聴室		
講師 メーカー説明員		
Technics 「SL-1200」シリーズ。 その集大成として誕生したのが、限定生産のマスターエディションモデル SL-1200GME/SL-1210GME です。		

ブランド復活後のダイレクトドライブターンテーブル第1弾「SL-1200G」をベースに、最新技術と10年にわたる開発の知見を惜しみなく投入。
新ツインローター型コアレス・ダイレクトドライブ・モーターをはじめとする基本構成はそのままに、モーター回転の微振動を抑制する $\Delta\Sigma$ （デルタシグマ）- Drive、低ノイズ化を徹底した Multi-Stage Silent Power Supply、さらに剛性を高めた新コアレス・ダイレクトドライブ・モーターを採用しています。
また、SL-1200GR2／SL-1300Gの開発で培われた高音質設計のノウハウを継承し、ダイレクトドライブの伝統と最新のアナログレコード再生技術を融合。
マグネシウム製トーンアーム、二層構造シャーシ、新開発のグラフィイトメタリック塗装などにより、高剛性・低共振化をさらに推し進めています。
外観の上質な質感はもちろん、回転精度・トルク感・静粛性のすべてが一段と進化。従来機「SL-1200G」との比較試聴を通じ、その“静けさの中の躍動”をぜひご体感ください。
再生系には、Accuphase のハイエンドコンポーネント群（C-3900S / A-300 / C-57）と B&W 802D4 を使用。
SL-1200 シリーズを通して培われたダイレクトドライブ方式が、アナログ再生の真価を余すところなく引き出します。
ぜひ シマムセン 3F・第二試聴室にて、新モデル SL-1200GME を「見て」、そして「聴いて」。Technics が磨き上げた“SL-1200”の進化をご確認ください。

Technics
SL-1200GME VS SL-1200G
比較試聴体験会



Master Edition

ご予約は不要です。
当日はそのままシマムセン3F・第二試聴室へお越しください。
Technics説明員が常駐しております。

11月15(土)-11:00～18:00
11月16(日)-11:00～16:00

シマムセン



当日のセッティング



SL-1200G



SL-1200GME

3. 試聴経過

試聴のために持参した盤は、下記のものです。

ドイツグラモフォン 486 4177 (45回転盤)

イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ

ヒラリー・ハーン(ヴァイオリン)

GOOD TIME JAZZ S10054

消防 5 人組プラス 2 (TRADITIONAL JAZZ)

ULTRAART RECORD UA-1004 (78 回転盤)

小川理子トリオ

イザイについて SL-1200GME と SL-1200G で聴き比べましたが、倍音や胴鳴りで明らかに SL-1200GME に歩がありました。

TRADITIONAL JAZZ は、SL-1200GME と SL-1200G の聴き比べで、バンジョーの切れやチューバベースの解像度で差が着きました。

これらは最初の数秒で差が分かりましたので、SL-1200GME の回転の微振動を抑制する $\Delta\Sigma$ -Drive などの効果があるものと思われます。

SL-1200GME のワウフラッターは 0.025 だそうです。

そこでアナログマジックで、下記のターンテーブルに関して測定したワウフラッターの数値と波形を提示して単に数値だけではなく、波形も重要な要素ではないかと指摘しました。例として Technics SL-1600 と YAMAHA GT では波形がかなり違い、前者は鋸歯状、後者は少し角がとれて丸みを帯びています。

Technics SL-1600 YAMAHA GT-750 (DD)

GARRAD 401 (アイドラー)

LINN LP-12 PIONEER PL-31E Lux PD-171 (ベルト)

このようなデータと聴感の相関を調べることや聴感で差がついた SL-1200GME と SL-1200G の波形のデータの比較にも興味があります。

Technics が DD を採用した理由を聞いたところ、ノイマンのカッティングマシンが DD 方式だからマッチングを考えて採用したということでした。

検索すると 1980 年代にノイマンと TELDEC が開発したカッティングマシンは確かに DD 方式のようですが、1950 年代後半～1970 年代は、まだデジタル制御はないと思いますので、カッティングマシンも DD 方式でないかもしれず、興味のあるところ です。

さらに Harbeth のスピーカーの新製品も、別室で試聴してきましたが、大阪ハイエンドオーディオショーの印象どおりでした。

Harbeth

HL-Compact7ES-3 XD2



2026年に創立50周年を迎えるハーベス。
“黄金のバランス”と称されるその正確性と音楽性を
高次元で両立させ、高い評価を受けている
HL-Compact7ES-3XDシリーズが、
HL-Compact7ES-3XD2へ
さらなる進化を果たしました。

2ウェイ2スピーカー フロント・バスレフ型

¥1,078,000(税込/ペア)

シマムセン
CYMA

11月11日～17日 期間限定展示

4. まとめ

SL-1200GME と SL-1200G の聴き比べで前者の改善効果を認めました。その他有意義な意見交換ができました。

以上